

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和7年7月3日(2025.7.3)

【公開番号】特開2025-61619(P2025-61619A)
 【公開日】令和7年4月11日(2025.4.11)
 【年通号数】公開公報(特許)2025-066
 【出願番号】特願2023-169826(P2023-169826)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月25日(2025.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動作可能に構成される動作手段を備えた遊技機において、
弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、
前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体に作用された場合に当該変位体の変位され得るように構成され、
少なくとも所定位置を変位されている前記変位体が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、

前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置まで変位されず前記弾性手段に非当接とされ、

30

前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置を変位され当該変位された前記変位体が前記弾性手段に当接され得るように構成され、

少なくとも前記作用部の作用により変位される前記変位体を前記所定領域に維持し得るように構成される構成手段を備え、

少なくとも前記作用部が前記変位体に作用される前において、前記窓部を通じて遊技者に視認されない領域に前記変位体が位置され得るように構成され、

前記動作手段が、所定の区間で第1方向と前記第1方向とは反対の第2方向とに繰り返し動作され得るように構成され、

40

前記変位体が前記作用部の作用により変位される場合に、前記変位体が前記作用部から離れる態様で変位され得るように構成され、

少なくとも前記変位体が前記作用部の作用により変位される前において、前記変位体と前記作用部とが離間された状況が構成され得ることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 2 】

動作手段の作用部が変位体に作用されると変位体に変位され得る遊技機が知られている（特許文献1）。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 3 】

【 特 許 文 献 1 】 特 開 2 0 2 2 - 1 0 9 3 2 6 号 公 報

10

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、変位体の変位に関して改善の余地があるという問題点があった。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

20

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、変位体の変位に関して好適とできる遊技機を提供することを目的とする。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

30

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、動作可能に構成される動作手段を備えたものであり、弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体に作用された場合に当該変位体に変位され得るように構成され、少なくとも所定位置を変位されている前記変位体が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置まで変位されず前記弾性手段に非当接とされ、前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置を変位され当該変位された前記変位体が前記弾性手段に当接され得るように構成され、少なくとも前記作用部の作用により変位される前の前記変位体を前記所定領域に維持し得るように構成される構成手段を備え、少なくとも前記作用部が前記変位体に作用される前において、前記窓部を通じて遊技者に視認されない領域に前記変位体が位置され得るように構成され、前記動作手段が、所定の区間で第1方向と前記第1方向とは反対の第2方向とに繰り返し動作され得るように構成され、前記変位体が前記作用部の作用により変位される場合に、前記変位体が前記作用部から離れる態様で変位され得るように構成され、少なくとも前記変位体が前記作用部の作用により変位される前において、前記変位体と前記作用部とが離間された状況が構成され得る。

40

50

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項 1 記載の遊技機によれば、変位体の変位に関して好適とできる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 6 0 3 1

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 6 0 3 1】

H 1 0

パチンコ機（遊技機）

H 1 4 e

窓部

D 4 1 1 8

下側案内部（構成手段）

D 1 2 0 , D 2 1 2 0 , D 3 1 2 0 , D 4 1 2 0 上側揺動手段（変位体）

D 1 3 0

下側揺動手段（変位体）

D 1 4 3 b 2

突設部（作用部）

D 1 4 7 b

突設部（作用部）

20

D 1 5 3 b 2

突設部（作用部）

D 1 5 7 b

突設部（作用部）

D 1 4 3

第 1 正面カム（動作手段）

D 1 4 7 , D 2 1 4 7

第 2 正面カム（動作手段）

D 1 5 3

第 1 正面カム（動作手段）

D 1 5 7

第 2 正面カム（動作手段）

D 1 8 1

上側バネ（弾性手段）

D 1 8 2

下側バネ（弾性手段）

D 2 1 8 3

付勢手段（弾性手段）

30

40

50